

ストレートマスターのメリット

- 基礎実習では、1年間を通して授業だけでなく、学級経営や校務などを経験することができ、教師として必要な資質・能力を総合的に高めることができます。
- 教職大学院を修了見込みの場合、自治体により教員採用試験の第1次試験の免除などを受けられます。

取得可能な免許状

- 小学校教諭専修免許状
- 中学校教諭専修免許状
(各教科、但し、特別な教科については取得可能か教職大学院係に確認してください)
- 高等学校教諭専修免許状
(各教科、但し、特別な教科については取得可能か教職大学院係に確認してください)
- 養護教諭専修免許状
- 栄養教諭専修免許状
- 特別支援学校教諭専修免許状
(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)

※現在取得している教員免許状(一種)を基礎に、小学校教諭、中学校教諭(各教科)、高等学校教諭(各教科)、養護教諭、栄養教諭、特別支援学校教諭の専修免許状を取得できる。

平成30年度教職大学院入試日程・出願期間・募集人数

A 日程：2017年11月23日(木) 出願期間2017年10月16日(月)～20日(金)
B 日程：2018年 2月 4日(日) 出願期間2018年 1月15日(月)～18日(木)
募集人数：A 日程・B 日程を合わせて15名

入学検定料・入学料・授業料

入学検定料 30,000 円
入 学 料 282,000 円 授業料 535,800 円(年額)

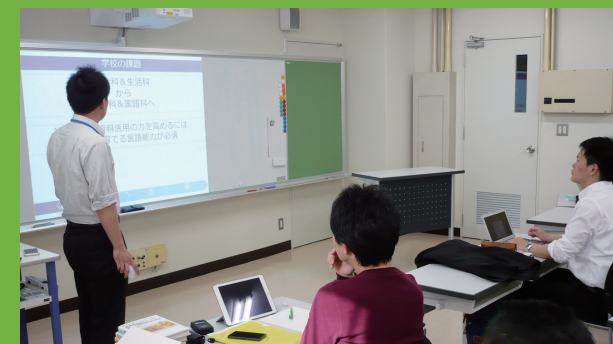
問い合わせ先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79番2号
横浜国立大学教育学部教職大学院係
TEL：045(339)3492



横浜国立大学 教職大学院 案内

教育学研究科 高度教職実践専攻



実践的問題解決能力の向上を目指す 学び続ける教員の期待に応えます

中核的中堅教員

教育課題の分析・解決
同僚性の構築・活性化

即戦力となる新人教員

高度な教育実践力
学校づくりへの参画

理論と実践の往還を支える カリキュラムと指導体制

講義・演習

- 教育課題に関連する理論
- 解決に必要な実践研究の方法論

事例(ケース)を構造化・体系化することによる適応能力の育成

これまでの実践経験や実習での学びの省察と講義を関連付ける
実務家教員の経験に基づいた専門的な識見と理論を融合する
教育課題の解決方法を探る協働による実践研究

指導力・実践力・協働性構築力・問題解決力の向上

学校実習

- 基礎実地演習
- メンタリング実地研究

特徴的な取り組み

- 講義は原則として午前中(学校課題解決研究、集中講義を除く)
- 地域の教育課題を学ぶ「教育改革の現状と神奈川の教育事情」
- 修士論文のように個人研究ではなく、学校課題の解決に向けた取り組みの報告書を作成
- 学校の課題解決を目指した「チームメンタリング実地研究」
- 研究者教員と実務家教員のTTによる講義・実習・課題研究の指導
- ICT機器が整備された講義室、院生室(個人用机あり)
- タブレット端末の活用(授業記録・eポートフォリオ)

開設授業科目の構成

主な科目		主な科目	
教育課程の編成・実施に関する領域	学習指導要領と教育課程の編成など	共通選択科目	家庭・地域と連携した情報モラル教育 など
教科等の実践的な指導方法に関する領域	授業デザインの理論と実践など	学部新卒学生向け科目	基盤的な学力育成の理論と実践など
生徒指導、教育相談に関する領域	教育相談体制とカウンセリングなど	現職教員学生向け科目	校内研究・研修の方法論 など
学級経営、学校経営に関する領域	組織マネジメントと学校経営など	特別支援教育に関する科目	特別支援教育の理論と実践など
学校教育と教員の在り方に関する領域	教職メンタリングの理論と実践など	学校実習科目	学級・学年経営基礎実地演習 チームメンタリング実地研究 など ※短期履修が認められた場合6単位免除
現代的な教育課題	インクルーシブ教育の理論と課題など	課題研究	学校課題解決研究Ⅰ 学校課題解決研究Ⅱ

既設大学院(教育学研究科)と教職大学院の違い

	既設大学院	教職大学院
学位	修士(教育学)	教職修士(専門職)
専修免許	取得可能	取得可能(裏面参照)
単位数	30単位以上	46単位以上
講義	2学期制 (1コマ90分16回)	6ターム制(2ヶ月1ターム) (講義+演習)180分8回
学校実習	なし(教育インターン)	10単位
提出論文等	修士論文	学校課題研究報告書 (チームメンタリングで実施研究の成果をまとめます)
その他	昼夜開講 長期履修制度あり	現職教員は7年以上の教職経験並びに 2校以上の学校現場経験が必要 (1年間で修了する短期履修制度あり)

※ 詳細については、HPをご覧ください。 <http://ps.te.ynu.ac.jp>